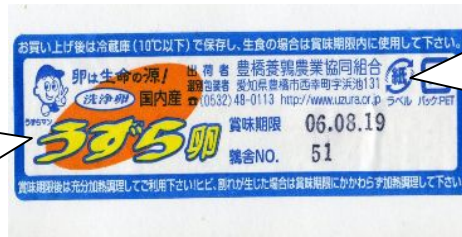


うずら全国1位

「うずらの卵」についているシールをみたことがありますか？



豊橋市西幸町には、日本で唯一のうずら専門農協「豊橋養鶏農業共同組合」があります！

豊橋市のうずらの歴史



豊橋を中心とするうずら産業は、大正10年頃が起源ですが、昭和7年には約65万羽が飼育されていたそうです。

戦後の昭和24年に豊橋の研究熱心な農業家が東京のペットショップから数つがいのたまごを送ってもらい、繁殖させて卵生産をさせ、共同選卵や共同出荷が始まり大きく発展を遂げました。

その後、地域に拡大し、平成元年には市内で約460万羽飼われて全国シェアの60%以上を占めていました。

現在、約40戸の養鶏（ようじゅん）農家が約400万羽飼育していて、1戸当たりの産卵量は約320万個余となっています。法人化された大規模業者もありますが、多くは個人経営で専業の割合が高いです。農家から出荷された卵の約6割は、ゆで卵にされ、殻をむいて加工食品として袋詰めや缶詰にされています。残りの4割は、生卵としてパック詰めされ、東京を始め全国各地に出荷されています。生産量は少し減りましたが、日本一位の産地です！

うずらの生産が盛んになった理由

- ① 温暖な気候が飼育に適していたこと
- ② 元々養鶏が盛んで、関連して飼育機材業者も多かったこと
- ③ 東京・大阪の二大市場の間で交通の便がよかったこと など

「豊橋養鶏農業共同組合」

うずら

場内の様子



見学を申し込むと…

卵の洗浄殺菌ラインや自動パック詰めラインなどが見学できます。

うずらクイズ

幸小学校3年生
が考えました！

- 第1問 卵に黒い模様があるのはなぜ？ A:おしやれ B:石に似せて身を隠すため C:シミ
- 第2問 鳥は、1年間に何個卵を産むでしょう？ A:100個 B:10個 C:250個
- 第3問 うずらのひなは何て鳴くでしょう？ A:グワグワッ B:ピーピー C:コケッチョ
- 第4問 1つの卵は何時間で産むでしょう？ A:26時間 B:10時間 C:3時間
- 第5問 うずらはどのぐらい飛べるでしょう？ A:1m B:1Km C:実は飛べない
- 第6問 同じ鳥が卵を産むとがらは同じ？ A:だいたい同じ B:ぜんぜん違う

答え①B ②C ③C ④A ⑤B ⑥A全問正解できたかな？

工場を見学してうずら博士になってね！

幸小 綿貫節子 伊藤佳奈